

## 考えよう 地球家族 ～被造物の声に耳を傾ける～

世界のキリスト教諸教派（カトリック教会だけではありません！）は、毎年9月1日からアシジの聖フランシスコの祝日である10月4日までを「被造物の季節」として、ともに暮らす家である地球のために祈り、また守るよう呼びかけています。当然のことながら、カトリック教会もこの活動に参加し、毎年呼びかけを行っています。日本では「すべてのいのちを守るための月間」として取り組んでいます。

今年の「被造物の季節」のテーマは「被造物の声に耳を傾ける」で、旧約聖書の詩篇19編2～5節からとられています。

天は神の栄光を物語り、大空は御手の業を示す。  
昼は昼に語り伝え  
夜は夜に知識を送る。  
話すことも、語ることもなく  
声は聞こえなくても  
その響きは全地に その言葉は世界の果てに向かう。

皆さんがよく知っていて、しかもよく使う「エコロジー」という言葉は、「オイコス」というギリシャ語から来ています。その意味は「家」です。つまり、環境問題について考えるということは、私たち全人類共通で、かつ唯一の「家」である地球を守ることなのです。

人類の歴史が始まって以来、現代ほど人類が一つの家族なのだ、という事実を意識させられた時はなかったのではないのでしょうか。それは単に情報伝達の技術が驚くほど進歩した、ということによるだけではありません。



経済活動は良くも悪くも地球規模で行われ、世界の一地域の戦争は世界中に影響を及ぼし、食糧や燃料などの生活必需品だけではなく、諸物価の高騰を招きます。

さらに、地球温暖化という地球の命にかかわる大問題は、すでに世界中の国々を直撃し、異常高温、異常洪水などの頻発に見舞われています。「観測史上初の…」というフレーズが飛び交います。経済的発展を最大目標に掲げて人類が歩んだ結果、そのマイナス結果を人類が負わなければならなくなっています。

この同じ「家」に住む私たち人類家族の連帯意識というものを、どのように育てることができるのでしょうか？コロナパンデミックは富める国の人も貧しい国の人も、差別なく襲いました。

私たち人類は、疾病に対しても地球の温暖化に対しても、地球規模で協力して、兄弟姉妹として生きていくよう招かれているのです。

アシジの聖フランシスコは、本学の精神的基盤の役割を持っています。中世の聖人でありながら、非常に現代的な意識の広がりをもった聖人で、太陽も月も風も水も、母なる大地も草木も花も、すべての被造物を「兄弟・姉妹」と呼びました。



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。  
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」  
（ヨハネ福音書15章5節）

### 教皇ヨハネ・パウロ2世

#### 「平和アピール」

（1981年 広島より）

戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。…

過去をふり返ることは、将来に対する責任を担うことです。広島を考えることは、核戦争を拒否することです。広島を考えることは、平和に対しての責任をとることです。…

すべてをさしおいて、平和が追求され、平和が保持されねばなりません。過去の過ち、暴力と破壊とに満ちた過去の過ちを、繰り返してはなりません。険しく困難ではありますが、平和への道を歩もうではありませんか。その道こそが、人間の尊厳を尊厳たらしめるものであり、人間の運命を全うさせるものであります。平和への道のみが、平等、正義、隣人愛を遠くの夢ではなく、現実のものとする道なのです。

### 聖書のことば

被造物の偉大さと美から  
推し量ることで、  
その造り主を認めることができる。  
（知恵の書13章5節）

## 勉強会のご案内

ご希望の方に下記の通り始めます。  
どなたでもお越しください。

指導 佐久間 力 神父様

日程 毎月第2木曜日

16:30~17:30

第一回 10月13日から

場所 カトリックセンター

(北16条校舎チャペル棟3F)



佐久間神父様は、20代の頃に  
青年海外協力隊の一員として、  
ラオスに派遣された経験  
をお持ちです。

皆さんの興味・関心のあることについて、何でも一緒に考え、話し合い、学びましょう。

- ・「愛する」とはどういうこと？
- ・日本の経済活動を担っている技能実習生たちの苦しみは？
- ・全人類の「家」である地球を守るためには？  
etc.

### 「考えよう 地球家族」(カトリック教会主催)

地球家族を、災害対応の視点と国際協力の視点から学び、「すべてのいのちを守るため」に次の活動へつなげていくことを探りましょう。(ZOOM参加も可)

日時 8月20日(土) 10時~15時

場所 札幌教区カトリックセンター (北1条東6丁目)

ZOOM参加も可能です(希望者は8月15日までに名前、所属、Eメールアドレスを記して

office.csd4@gmail.com にお申し込みください。



### 聖歌隊員の募集

本学では、聖マリア聖堂の完成を機に、2018年に聖歌隊を結成しました。学内の宗教行事に際して、美しい聖歌で花を添えていただいています。

歌うことの好きな方、ハーモニーを楽しみたい方、宗教音楽に興味のある方など、多くのご参加を期待しています。

練習は原則週1回1時間程度。ご指導は細貝則子先生です。(希望者は学生課まで)



本年2月24日にロシアがウクライナに侵攻して以来、早くも5か月以上が経ちました。その間に、どれほど多くの方々の命が奪われたことでしょうか。両方の兵士たち、ウクライナの民間人たち…。早期にどこかで妥結点を見出せますように。

### 教皇フランシスコのTwitterより



Pope Francis\_@Pontifex

Dear #YoungPeople, in a world in which scandals, war, injustice, environmental destruction, indifference towards those in need, disillusionment on the part of those who should be giving an example, are not lacking, you are the answer because the future is in your hands.



アジジの  
聖フランシスコ像

(北16条キャンパス)

### ミサへのお誘い

北16条キャンパスのチャペル、聖マリア聖堂において、後期には下記の日程でマルクス学長司式によるミサを行いますので、どなたでもご参加ください。学生・教職員の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時:

|           |             |
|-----------|-------------|
| 9月27日(火)  | 12:20~12:50 |
| 10月25日(火) | 12:20~12:50 |
| 11月18日(金) | 12:20~12:50 |
| 1月20日(金)  | 12:20~12:50 |

なお、マスク着用をお願いいたします。日程に変更の可能性もありますので、直前にご確認をお願いします。